

3月7日(月)

望は消え去り、そして戻ってくる

聖書朗読 II 列王記 4:8~17

望みを抱いて喜び、患難に耐え、絶えず祈りに励みなさい。

ローマ 12:12

ワクチンが発見されるのが遅すぎました。1954年、私はポリオにかかってしまいました。でも、医師、看護師たちの献身的な治療と主の癒しの御手のおかげで、私はさほどの後遺症を残すことなくポリオから回復することができました。実は、医師たちは私は2度と歩くことはないだろうと思っていたそうです。

柵一杯に並べられている長距離走で勝ち取ったトロフィーは全く役にたちませんでした。ポリオと戦っている間、未来への希望は消え去ったように思いました。しかし、数か月後、その希望は戻ってきたのです。

この私の経験は苦しいものではありませんでしたが、列王記第二4章の高潔なシュネムの女性が経験した胸が締め付けられるような思いとは違うものでした。この女性の夫はすでに年老いており、息子を持つという希望はすでに消え去っていました。神の御心と預言者エリシャの介在によって、シュネムの女は子どもを授かり、そして、新たな将来への希望を持つこととなりました。

しかし、彼女の息子は幼くして命を落としてしまいました。彼女の希望全てが粉々に砕かれました。彼女はエリシャを捜し、エリシャの足にすがりつき彼女の身に起きた悲劇を話しました。するとエリシャは彼女の息子の命を戻しました。彼女は全てを失ったわけではありませんでした。突然悲劇は去り、彼女の全ての希望が戻ってきたのです。

讃美歌 280

祈り 主よ。どんな逆境の中でも、あなた様のさらに大きな業を見る希望を決して捨てません。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

グローバー・シップ

テキサス州 オースティン

今日の力

2016年3月7日~3月13日

翻訳 阿部やよい

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

3月8日(火)

神の導きに従う

聖書朗読 II列王記 5:1~14

あなたは、私のいのちを死から、まことに私の足を、つまずきから、救い出してくださいました。それは、私が、いのちの光のうちに、神の御前を歩むためでした。

詩篇 56:13

私たちは皆、常に選択肢を与えられ、それに対して決断をしていきます。今日の話の中には、神の導きに従い、神に従うことを決断した三人が出てきます。まず一人目は、ナアマンの妻に仕えていた若い女性でした。彼女は奴隷の身でしたが、彼女は信仰をナアマンに伝え、二人でエリシャに会いに行きました。そしてエリシャは神の導きに従い、ナアマンを呼び寄せ、そしてナアマンにヨルダン川へ行って七度身を洗うように伝えました。これを聞いたナアマンは、一度は怒って去りましたが、その後深く考え、最終的にはエリシャの言葉に従って川へ行き、七度身を洗い、清くなりました。

あなたは、これまでに何度人の人生を永遠に変えてしまうような指示を出さなければいけない立場に置かれたことがありますか？ または、何度誰かの導きに従って、神の助けの御手にたどり着いたことがありますか？ 今日の話の中で、ナアマンの癒しに貢献した人が三人います。そして、それぞれに癒しには欠かせないとても重要な役割が与えられていました。誰かの助けのための一役となりましょう。神の導きに従いましょう。

讃美歌 285

祈り 主よ。あなた様が私に示してくださっている導きに気がつき、誰かをあなたの癒しへと導くことができるようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

シェリー・リムス

テキサス州 ルボック

3月9日(水)

彼ら！

聖書朗読 エズラ 4:6~24

御座にすわる方と、子羊とに、賛美と誉れと栄光と力が永遠にあるように。

黙示録 5:13

あなたは彼らを好きじゃないですよね？ 誰のことを言っているかわかりますよね。いつもあなたのやっていることにけちをつける人。あなたの意欲を失わせ、あなたのエネルギーを奪う人。あなたについてうその噂を流したりする人たちのことです。

今に始まったわけではなく、このような人たちはいつの時代にも、そしてこの先もいなくなることはありません。エズラやゼルバベルも、エルサレムの神殿を再建しようとしたときに、このような人々と対峙しなければなりませんでした。そしてどうなったと思いますか？ なんと彼らの企みは成功したのです！ 彼らは王に告訴状を送り、神殿再建の中止を勝ち取りました！

狂ってますよね？ このような人たちは隙を見せれば私たちをくじかせようとします。しかし、彼らが間違っていることを私はわかっています。それはこの話の結末を私たちは知っているからです。町や神殿が再建されたことを知っているからです。そして、ダビデの子孫は生きており、そして今も皆を治めています！

ああ、主はエルサレムにはおられませんでした。主は彼を愛し、彼との約束を守る人々の心と魂の中におられました。ですから、次にこのような人々に会ったとき、誰が御座に座っておられるのかを思い出しましょう。そして、いつの日か全ての者がひざまづく方を思い出しましょう！

讃美歌 66

祈り 親愛なる主。私たちに意地悪な人ですら愛することができるようお助けください。私たちは、あなた様が彼らも愛していることを知っています。あなた様は御座に座っておられ、この世界を御手におさめておられる方であることを決して忘れないようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

J・リチャード・トンブソン

テネシー州 ナッシュビル

3月10日(木)

思い起こしてください

聖書朗読 ネヘミヤ 1:1~11

あなたのしもべモーセにお命じになったことばを、思い起こしてください。

ネヘミヤ 1:8

今日の聖書朗読箇所の中にある、賛美と、後悔と、願いと望みの祈りはなんと美しいのでしょうか。8節の『思い起こしてください』のこの言葉は私の心に刺さります。私たちは皆、たとえ年老いて、記憶があやふやになっても、神のみことばを思い起こし、日々の生活の中で用いていければと心から願います。

最近私は、老化のプロセスそしてシニアミニストリーについて学んでいます。シニアミニストリーのゴールは、正しい行いを示すだけでなく、後々思い起こされる遺産を残すことです。人生訓や処世訓を語り合うのは楽しいことですが、それを若い世代の子ども達によって聞き継がれていくことが大切なことでもあります。やるだけやってみましょう。そうすれば私たちの話もいつの日か思い起こされ、そして偉大な遺産として残ることになります。

エリザベス・キューブラー・ロスの言葉です。

「私たちが人生で出会う最も美しい人たちとは、挫折を知り、苦しみを味わい、失うことを知り、もがきながら戦い、どん底から這い上がった人たち。このような人たちは感謝をする。細やかな心になる。人生というものを理解する。だから思いやりにあふれ、寛大で、深い愛を持つことができるようになる。美しい人間が突然できあがることはない。美しい人間はこのような経験をとおして、創り上げられていった人たちである」。

神の導きを思い起こし、分かち合うことで、神聖な遺産が残され、そして美しい人間になれるよう人々に力を与えられるのだと思います。

讃美歌 502

祈り 親愛なる主。あなた様の私たちへの献身的な愛の話を語ることを決して忘れませんように。私たちがあなた様のうちにあってチャレンジし、確信し、自信となった話を語ることをお赦してください。

イエス様の御名によって。アーメン。

スーザン・K・ギボニー

カリフォルニア州 マリブ

3月11日(金)

立ち止まり、祈り、動き出す

聖書朗読 ネヘミヤ 2:1~10

わたしはひどく恐れて、・・・天の神に祈ってから、王に答えた。

ネヘミヤ 2:2, 4~5

この成句は私の心に響きます。だれでも、前へ進まなければならないときがあります。でも、まさにその時、一度立ち止って、祈りを捧げるのです。

ネヘミヤの仕事はさほど難しいものではありませんでした。王の献酌官であったネヘミヤは王に直訴する機会に恵まれました。エルサレムの城壁が崩され、その門が焼き払われてしまうと、ネヘミヤは居ても立っても居られなかったのでしょうか。

しかし、ネヘミヤは『悲しい顔つき』をしていました(2節)。

はっきり分かるほど、ネヘミヤの顔には恐怖が張り付いていました。どのように反応するか分からない権力者である王に率直に自分の意見を言うのは、それは恐ろしかったと思います。

ですから、ネヘミヤは一度立ち止まり、祈り、そして話し始めました。

不本意な決断、先の分からないこと、新しい道への第一歩は私たちを足を凍りつかせます。

しかし、そんな時私たちは大きく深呼吸をし、心配することをやめ、良い決断をできるよう祈るのです。そうすれば神が愛をもって私たちの内に動いてくださいます。

結果に捕らわれてはいけません。神の確かな手が私たちを自由にし、私たちは前へと進むことができているのですから。

讃美歌 313

祈り 神よ。私たちは一度立ち止まり、そして祈ります。広がっていく御国に向けて歩き出すことを誓います。

イエス様の御名によって。アーメン。

ヴァージル・フライ

テキサス州 ヒューストン

3月12日(土)

な ぜ ？

聖書朗読 エステル 4:1~8

神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。

ローマ 8:28

ポール・ハービーにこの話の結末を語ってもらう必要はありません。私たちはエステルが最終的には同意し、王に会いに行き、ユダヤ人、とりわけモルデカイとエステルにとって万事OKとなることを私たちは知っているからです。

しかし、疑問が残ります。なぜ？ なぜこうする必要があったのでしょうか？ もし主の御心がユダヤ人を救い出すことであったのなら、なぜすぐにユダヤ人たちを救いださなかったのでしょうか？ なぜモルデカイは、荒布をまとわなければならなかったのでしょうか？ なぜエステルは彼女の命をさらさなければならなかったのでしょうか？

はっきりとわかる答えは与えられていません。しかし、次の可能性を考えてみました。神は、モルデカイとエステルが困難を乗り越えている中でお働きになられた。この試練を乗り越えたことで彼らは強くなったと思いませんか？

試練に直面しているとき、「なぜ主は私たちをただ助け出してくれないの？」とどうしても思ってしまう。納得する答えが与えられることはほとんどありません。もがき苦しんでいるときに私たちの人格は形成され、周りの人のお手本となるのかもしれない。おそらく、ものすごく後になって答えが分かるのかもしれませんが。主は確固たる目的をお持ちです。それは私たちが理解するには大きすぎるのか、私たちの目が肉欲的過ぎて見えないのかもしれませんが。ですから、ただ主を信じて待ちましょう！

讃美歌 316

祈 り 我が聖なるお父様。あなたの指す道を信じて進む方法を私たちにお教えてください。あなた様の目的が理解できないときでも、その目的を受け入られるよう私の心を開いてください。

謙虚な気持ちでイエス様の御名によって祈ります。アーメン。

セイヤー・ソールズベリー

オハイオ州 トレド

3月13日(日)

人生——それは予測不可能なもの！

聖書朗読 ヨブ 1:13~22

しかし、正しい人はその信仰によって生きる。

ハバクク 2:4

私たちは、「良いことをすれば、神から良いものが与えられる」の公式を信じて、予測どおりの道を進んで生きたいと思っています。申命記、詩篇1章、箴言の多くを読むと、この公式が常に働いていることが確認できます。ですので、私たちが「正しい人」であれば、私たちは神の祝福を受けるものと考えるのは至極当然のことです。しかし、ヨブの話を読むと・・・

ヨブ記は聖書の中で最も読み手の心を乱す書として知られています。ヨブ記は「良い行いには、よい報い」の通りに始まります。ヨブは正しい人で、祝福された人でした。しかし、突然すべてが良くない方向へと向かっていきました。ヨブは、神とサタンがヨブの正しさをめぐって賭けをしたということを全く知りませんでした。ヨブが知っているのは、ヨブが大切にしていたもの全てを失った痛みだけでした。

この状況でのヨブの応答は『主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。』ですが、この思いを持ち続けることは、ヨブにとっても非常に困難なことでした。しかし、ヨブは耐えました。それは、それは最後にはヨブが神の御心を知ったからではなく、ヨブは神の存在に圧倒されていたのです。ヨブは神の御心を理解できませんでしたが、ヨブはただ神を信じました。人生は神の賜物です。私たちには恐れ多い賜物ですが、それは神からの祝福です。めぐみです。私たちは、自分がなぜこんなに苦しい目にあっているのか、その苦しみの中にある神の御心を決して理解することができないかもしれませんが、神はその御姿を私たちに示しておられます。そしてそれだけで私たちは十分なのです！

讃美歌 第二編 167

祈 り 父なる神。あなた様は完全な御方です。私たちは、ヨブもイエス様も私たちの多くも苦しみから逃れられないことを知っています。あなた様の御心がわからない中でも、あなた様の変わることのない御姿を感じ、私たちは十分にあなた様の恵みを頂いていることを忘れないようお導き下さい。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ティム・ケリー

コロラド州 リトルトン